4-IV-13

<u>4-IV-13</u>					
	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	地元の食の発信	
節	Ⅳ.ホスピタリ	ティの醸成			
車:	类/坛竺\夕	12	事業主体	佐渡市観光振興課	
争:	業(施策)名	13 佐渡の食の発信	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市	
事業実施期間		H28~R4	内柱凹件	農業政策課、佐渡連合商工会	
	【事業目的】				
	○ 地元食材による伝統的な食事のPRや新たなメニュー開発による取組等で、来訪者に地元の食の魅力を発信する。				
事業概要	【事業内容】 〇 佐渡の食の魅力発信に向けた関係機関による検討会議を設置し、訴求力のあるメニュー開発等を行う。				
· 安	【本計画終了時点のゴール】 〇 来訪者に対する佐渡ならではの食体験のブランドイメージの定着。				
これまでの取組実績	○佐渡冬紀行を造成販売した。 ○相川地区の飲食店有志により「金」や「金銀山の遺跡」をイメージできるメニューを開発・G級グルメ・スイーツとし命名し提供を図るとともにメニューを紹介するパンフレットを作成した。 ○総合パンフレット「佐渡さんぽ」、新たな観光コンテンツを特集した「Discovery SADO」を発行し、伝統料理や郷土料理のほか若者向けの飲食店や食べ物を紹介した。 ○TV、雑誌等の取材で佐渡の食をPRした。 ○みなとオアシス事業として、オイスターフェアを開催した。				
事業計一	【R3年度計画】 ■ 冬季旅行商品「佐渡冬紀行」を造成する。 ■ TV、雑誌等の取材で佐渡の食をPRする。				
画と実績	【R3年度実績】 ● 冬季旅行商品「佐渡冬紀行」「佐渡プレミアム冬紀行」を造成した。 ● TV、雑誌のほか、近年ではwebメディアの取材を多く受けており、食材の情報等をPRする ことができた。				
課題・	【課題】 ■ 地域でのグルメ開発等を行ってきたが、実来訪者の目に触れるようなPRについては現状できているとはいいがたく、情報発信が課題。				
今後の取組	【今後の取組】 ■ 佐渡の地域ならではの食や新しく開発したメニューを実際の消費に繋げる取組を行う。				
事業評価	【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。 〔 A ・ B・ C 〕				

- A: 予定を上回る進捗
- B:概ね予定どおり
- C:遅れている。